

# 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

基本塾優遊松之郷 令和8年1月27日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	88%	12%	0%	千葉県「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例」（十一条2のロ）に参考とするよう定められている広さがあると考えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	63%	37%	0%	厚労省の「児童福祉法に基づく通所支援の事業所等の人員、設備及び運営に関する基準」（第三の1）に記載されている基準よりも多く配置されている。しかしめ細やかな支援を行う場合、足りていないと感じる時もある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	50%	50%	現状 ADL に問題を抱えた利用者はいないが必要に応じて検討し対応を行って行く。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	88%	12%	0%	社内外ともに研修に参加し困難事例については目標設定を明確化し連携を含め早急に対応している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	厚生労働省の評価表を用いてアンケートを実施している。また、ご意見いただいた内容についてはスタッフと共有し支援に繋げていけるようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	88%	12%	0%	ホームページに掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	88%	12%	0%	外部評価に関しては業務改善を行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	88%	12%	0%	社内外の研修に積極態に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	専用のアセスメント用紙を用いて行っている。また個別支援作成時や必要に応じ行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	専用のアセスメント用紙を用いて行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%	0%	活動プログラムについては、スタッフと話し合い計画を作成している活動についてはスタッフ間で評価し次回支援内容に反映している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	季節ごとのイベントや利用者の状況を考えながら楽しめるように工夫をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	88%	12%	0%	長期休暇などは支援時間がながくなるので利用者が飽きないように目標を決め支援をしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	活動が個別支援計画書に反映した形で計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	88%	12%	0%	利用者の変化や状況などを事前に確認し役割分担を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	88%	12%	0%	支援についての反省や改善を行いスタッフ間で共有を行い、気がついた点についてはサービス提供記録に記載している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	その日の出来事をスタッフ間で共有し記録をしているまた早急の改善等必要な場合は話し合いを行い改善につなげている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	年2回以上家族との面談を設定し家族からの情報も含めモニタリングを行い、その結果を個別支援計画書に反映している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	100%	0%	0%	基本活動の「日常生活の充実と自立支援のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」「子どもが主体的に参画できる活動」に5領域を含んだ形で支援を提供している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	88%	12%	0%	対象の利用者に最もふさわしい者が参加できるようにしている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	保護者を通じて学校からの情報を（下校時間含む）把握している。また送迎時に学校の担任などから情報を共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	75%	25%	0%	現状医療的ケアの必要な利用者はいないが状況により検討していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	就学前の情報はこども園、保護者、相談支援事業所から電話や訪問により情報を共有している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	移行に関しては移行先と情報交換や共有を行い無理な移行がないようにしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	88%	12%	0%	機会があれば積極的に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%	0%	0%	放課後児童クラブや児童館との交流はないが公的な施設や基本塾の主催するイベントで交流する機会を設けている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	山武圏域自立支援協議会や研修の参加をしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	保護者の方との情報共有は、面談や電話、連絡帳、送迎時に連絡をし、情報共有を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	88%	12%	0%	保護者から相談あった場合、専門職を含め対応をしている
	保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%
㉛		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	保護者からの相談については適宜、迅速に行うように心がけている。相談については家族の状況を考慮しながら連絡しやすい方法で行っている。
㉜		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	88%	12%	0%	保護者会は事業所からの知らせで連絡をしている。開催は月に一回を予定している。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	改善以来の要望等があった場合は迅速に話し合いを行い、記録し改善案をお出ししている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	毎月、月初めに事業より会報を「優遊だより」を発行している。また「集団プログラム」についてはホームページにも掲載している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	個人情報については、鍵付きキャビネット等で保管している他、知りえた情報を社外に漏洩しないように職員間で研修を行っている

	⑩⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	言語コミュニケーションだけではなく、状況を検討し合理的配慮も含め発信している。
	⑩⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%	0%	0%	事業所の行事、イベントなどがあれば招待をいっている。見学や説明に関しては随時受け付けている。
非常時等の対応	⑩⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	各マニュアルの整備はしているので変更等があった場合は早急に周知徹底できるようにしていく。
	⑩⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	各マニュアルの整備はしているので変更等があった場合は早急に周知徹底できるようにしていく。
	⑩⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	「虐待防止マニュアル」を基に研修の開催は行っているため、実際に虐待が起こらない環境づくりをしていく。
	⑩⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	身体拘束の条件を十分に理解し、家族への説明や同意、また発生した場合の記録や報告を行っている。
	⑩⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	アレルギーについては入所時、適宜家族を通し医師の情報を共有している。
	⑩⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	事例が発生した場合は迅速に記録と対応を平行に行い、支援に反映できるようにしている。